

2023/2/28

# リトルハウス通信

今回のリトルハウス通信は、先月、東京都が主催する医療・福祉関係者を対象にした障害者スポーツセミナーに私が代表として参加した時の模様をご紹介します。

今回のセミナーでは、障害のある人にとってのスポーツの効果についての説明や、パラスポーツを通して、地域住民の交流を進めている社会福祉協議会の活動についての講義を受けることができました。

私が特に印象深かったのは、社会福祉協議会が地域住民全体にパラスポーツの普及を進めている活動報告でした。講義をして下さった方のお話では、パラスポーツという競技を「障害者が行うスポーツ」と限定的に捉えず、障害の有無に関係なく、地域住民が交流できるコミュニケーションツールとして取り扱っている点に強い感銘を受けたのでした。例えばパラスポーツのひとつである、ボッチャの大会を社会福祉協議会が地域住民に告知する際、参加条件には「〇〇区の住民」であるという点だけで、そこに「障害者のパラスポーツ大会」といった括りはなにもないそうです。

わたしはパラスポーツの専門家ではないので詳しいことはわかりませんが、パラスポーツを障害の有無に関係なく行う際、そこに障害者と健常者という壁が自然に消えていく作用があるのではないかと感じます。

リトルハウスでも、月一回のスポーツレクリエーションとしてボッチャや卓球等を行っていますが、その場では、職員、利用者、ボランティアのそれぞれの立場に垣根が無くなり、参加者がごく自然にゲームに没頭します。障害者と健常者がゲームの中で、平等に競い合うことができ、そしてお互いを労い合うことができるのが、私が考えるパラスポーツの最大の魅力です。その結果として、いつもの日中活動の時と比べコミュニケーション量が格段に増え、結果として笑顔や笑い声が体育館中に充満しています。

平等な立場で競い合い、声援と労いの言葉と笑い声が自然に生まれるパラスポーツ及びスポーツレクリエーションは、とても素晴らしいものだと思います。今後もリトルハウスでは、パラスポーツ及びスポーツレクリエーションを支援の大切な要としていきたいと改めて感じる事ができた障害者スポーツセミナーでした。

そして近い将来、リトルハウスが地域で行われるパラスポーツ大会等に出場し、地域の方々と一緒にたくさん笑顔になれる体験ができたらと思っています。 (鈴木)